

進行期の進捗は順調も機械受注のマクロ動向に留意

2023/12期3Q実績

11月7日、23/12期3Q決算が発表された。1～9月期累計業績は、売上高が1,293億円(前年同期比9.3%増)、営業利益が46.8億円(同11.8%増)だった。2Q決算発表時に上方修正された会社計画に対する進捗率は売上高75.6%・営業利益78.1%であり、総じてインラインな決算だったと言えよう。主力の機械・工具中心にボリュームを確保でき、資材費の上昇や、為替影響を含む海外賃金中心とした人的資本投下の積み増しをカバーし、増益を確保した。

一方、3ヵ月毎のモメンタムで見るとトップラインにはやや減速感がある。23年1～3月期の12.8%増収、4～6月期の8.6%増収に対し、7～9月期は6.8%増収の441.5億円に留まった。セグメント別では、機械・工具が11.4%増収(300.0億円)、建設資材が0.9%減収(114.6億円)、建設機械が12.9%減収(18.9億円)、IoTソリューションが17.3%増収(8.2億円)であり、建設資材・建設機械が全社業績伸び悩みの一因である。建設資材は建設コスト高を受けた慎重な投資姿勢や長引く住宅需要の低迷が、建設機械は製造コストアップを契機としたメーカー側の値上げを受けた顧客の購買意欲の低下が影響している模様である。

また、機械・工具に関しても、先行指標である受注モメンタムには一定の気を配る必要があるだろう。過去に蓄積した機械の受注残の引渡が進んだ上、円安に伴う海外売上高の円貨換算値引き上げも相俟って、工具が概ね横ばい圏で推移する中でも7～9月期は11.4%増収を確保できた。しかし、日本工作機械工業会の月次統計や他機械メーカーの受注動向、会社開示資料等のトーンから推察するに、マクロ的なダウントレンドはまだボトムアウトしておらず、24年上期の販売材料の積み上げが今一つだろうと推察される。23/12期の会社修正計画には低調な受注を踏まえた販売計画が織り込まれており、進行期の下振れリスクは限定的だが、24/12期のガイドンスリスクには一定留意が必要だろう。

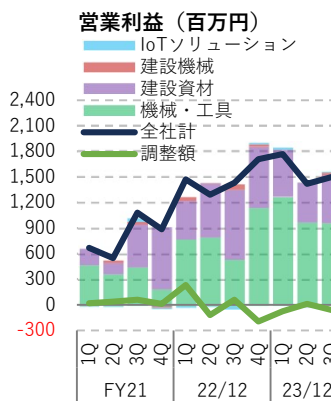
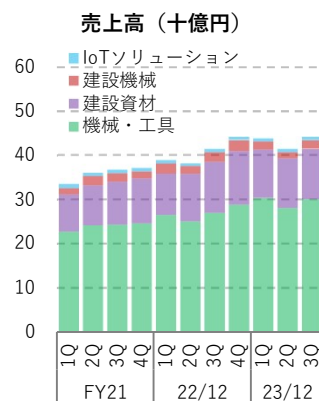
23年9月には、組織再編やAI解析によるスマート畜産システム「UNI-MOW」の販売開始など、中計施策を推し進める上での新材料も新たにリリースされている。24/12期より成長を加速する中計2ndステージに移行するが、その準備を着々と進めていると見られる。

決算期	売上高 (百万円)	YoY (%)	営業利益 (百万円)	YoY (%)	親会社株主利益 (百万円)	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2019/12	175,395	-	6,892	-	5,620	-	-	-
2020/12	145,028	-17.3	4,539	-34.1	2,996	-	-	-
2021/12	143,180	-1.3	3,178	-30.0	3,065	-	-	-
2022/12	162,416	13.4	5,895	85.5	4,531	47.8	178.9	113.0
2023/12CE	171,000	5.3	6,000	1.8	4,700	3.7	185.1	65.0
2022/12 3Q	118,259	-	4,188	-	3,376	-	133.3	-
2023/12 3Q	129,311	9.3	4,683	11.8	3,859	14.3	153.2	-

出所：同社IR資料より SIR作成

注釈：FY21以前は2グループの収益を期間集計し直した修正値である。

なお、2022/12期のDPSには、記念配当50円が含まれている点に留意されたい。



出所：同社IR資料より SIR作成
注釈：FY21以前は2グループの収益を期間集計し直した修正値である。

アナリスト 長谷川 翔平

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp